



## 地方自治に功績 故梅野大學氏に旭日単光賞

一の宮町議会議員を永きにわたり務められるなど地方自治に功績があったとして、去る2月27日永眠された梅野大學氏（84歳、中通）に死亡叙勲が授与されました。7月6日、阿蘇市役所で叙勲伝達式が行われ、佐藤市長より妻仁子さんへ勲記と勲章が手渡されました。

梅野氏は、昭和62年4月から平成11年4月までの3期12年間、一の宮町議会議員を務められ、その間、民生文教常任委員会副委員長、総務常任委員会副委員長などを歴任。また、昭和61年10月から4年半、一の宮町監査委員を務めるなど行政や町の発展に大いに貢献されました。



## 阿蘇世界文化遺産推進室を開設



7月1日、世界遺産の国内暫定リスト入りを目指す熊本県と阿蘇郡市7市町村は、旧役犬原小学校に「阿蘇世界文化遺産推進室」を開設しました。

昨年9月、県と7市町村は、「阿蘇一火山との共生とその文化的景観」として、文化庁へ提案書を提出。審議の結果、惜しくも暫定リスト入りを果たすことができませんでしたが、暫定リストに次ぐ最上位の評価を得ました。この上で阿蘇の草原景観という広大な範囲について、文化財保護法や景観法といった保護措置の改善・充実に向けた取り組みが不可欠であると課題が示されました。この課題に取り組もうと、県職員2人、阿蘇市職員2人の4人体制の「推進室」を設けたものです。今後、具体的に必要な基礎データの収集などに努め推進していきます。

世界遺産の国内暫定リスト入りを目指すために、牧野組合や集落等と連携し草原保全の活用等についても検討が必要ですので市民の皆さまのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

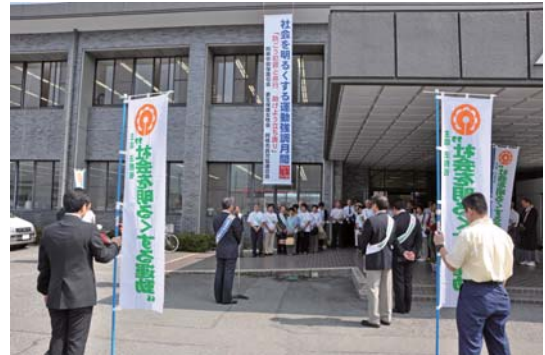
▲佐藤市長と阿南誠一郎県教育次長

## 生徒が育てた花でまちを明るく！



一の宮中学校の生徒たちが「私たちが育てたマリーゴールドです、日の当たる玄関に飾ってください」と7月15日、市役所を訪れました。一の宮中では日本一美しい学校づくりに取り組んでおり、その一環で生徒全員で種から育てる花の栽培を始めて今年で3年目。今年もマリーゴールド2千株が見事に花開きました。『花』は仲町通りや保育園などにも配り、まちを明るくしました。

## 更生保護に理解を求める運動



法務省が主唱する「第59回社会を明るくする運動」が行われ、阿蘇市でも重点事項である“犯罪や非行をおかした人たちの就労支援”を掲げ、啓発活動が展開されました。運動に取り組まれているのは、阿蘇市及び産山村の保護司、更生保護女性会、民生児童委員で組織する阿蘇中部地区推進委員（委員長山部謙一郎氏）の皆さんで、7月6日に広報車での啓発巡回運動の出発式が市役所前で行われ、広く市民の方々へ理解と協力を呼び掛けました。